

※一部非公開

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

## 小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題 以下の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

**非公開**

(厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課, 『新しいバイオテクノロジーで作られた食品について』 5~6 ページ, 2020 年 3 月, 抜粋,  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000657810.pdf>, 2020/09/07)

問 1. ゲノム編集技術によって毒素のないジャガイモを作ることに対するメリット・デメリットを述べ, 新しい性質や機能等をもつ生物資源を作ることに対するあなたの考えを 400 字以上 600 字以内で記述しなさい。

問 2. 食品・医薬品産業分野において, あなたが考えるゲノム編集生物について述べ, そのゲノム編集生物が, どのような課題の解決に繋がるか, あなたの考えを 600 字以上 800 字以内で記述しなさい。

# 令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

## 小論文

### 農学部 亜熱帯生物資源科学科

#### 出題の意図

農学部の教育理念は、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然環境条件及び歴史的・文化的特性を活かし、生物の生存環境と人間の共生を目指して、持続的食料生産、地域農業、環境保全、生物資源・エネルギー利用、栄養・健康・長寿及び発酵・生命に関する専門教育と研究を深化させ、その成果の蓄積・活用と人材育成によって、地域社会並びに国際社会の発展に貢献することを目的とする。

本学科のアドミッション・ポリシーは、沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身につけ、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人を求めており、具体的には、生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人、健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味を持つ人、発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人を挙げている。

ゲノム編集技術は、2020年にノーベル化学賞を受賞した技術であり、ニュースでも頻繁に取り上げられている。また、この技術は人類が古くから行ってきた品種改良の延長線上に存在する。ゲノム編集技術は本学科の研究技術としても密接な関係を有している。本試験では、問1において、課題文章と図から得られる情報を元に物事を多方面から考えられる能力を測るとともに、ゲノム編集技術に対する意見を問うことで、本学科の求める「生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人」の素養を試す。問2においては、ゲノム編集技術の産業活用への問いにより、学校推薦型選抜で特に求める学生像である生物資源の機能開発や高度利用への関心と社会に貢献する強い意志の素養を試すとともに、創造力、発想力、論理的な文章作成能力を測る。